



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4968 URL http://www.arakawachem.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮下 泰知 (TEL) 06-6209-8500
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 39,890 | 5.1 | 2,662 | 4.3 | 2,843 | 14.8 | 2,063 | 20.8 |
| 29年3月期第2四半期 | 37,937 | △3.2 | 2,553 | 66.0 | 2,477 | 44.5 | 1,707 | 53.2 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,863百万円(—%) 29年3月期第2四半期 165百万円(△61.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 99.97 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 83.17 | 83.09 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 85,758 | 53,813 | 60.8 |
| 29年3月期 | 83,898 | 51,557 | 59.5 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 52,107百万円 29年3月期 49,915百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 16.00 | — | 22.00 | 38.00 |
| 30年3月期 | — | 19.00 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | — | 19.00 | 38.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創業140周年記念配当1円00銭
 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当21円00銭 創業140周年記念配当1円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 78,000 | 0.8 | 4,750 | △6.8 | 4,900 | △7.8 | 3,200 | △6.3 | 155.04 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 1社(社名) 廈門荒川化学工業有限公司

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期2Q | 20,652,400株 | 29年3月期 | 20,652,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 13,070株 | 29年3月期 | 13,010株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期2Q | 20,639,367株 | 29年3月期2Q | 20,528,696株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心に緩やかに回復しました。しかしながら、米国の政策や中国を始めとするアジア新興国等の経済の先行きは、依然不透明な状況にあります。一方、国内経済は、堅調な雇用情勢を受けた個人消費の回復や輸出の持ち直しなどによる企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートしました第4次中期5ヵ年経営計画の方針（「事業の新陳代謝」や「真のグローバル化」など）に沿った重点施策を進め、事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は398億90百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は26億62百万円（同4.3%増）、経常利益は28億43百万円（同14.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億63百万円（同20.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、印刷・情報用紙の需要が低迷する中、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、板紙向け紙力増強剤の需要が増加しましたが、原材料価格の上昇による収益性の悪化もあり、売上高は99億円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は5億90百万円（同11.7%減）となりました。

<コーティング事業>

印刷インキ業界は、出版・広告分野では市場の縮小が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂は、出版用などが大幅に減少しました。一方、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は高付加価値製品の寄与もあり、堅調に推移しました。

その結果、売上高は94億43百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は5億25百万円（同1.0%増）となりました。

<粘接着事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が増加しております。このような環境のもと、当事業におきましては、水素化石油樹脂の販売が好調に推移するとともに、アジア地域を中心にロジン系の粘着・接着剤用樹脂の販売が堅調に推移しました。しかしながら、原材料価格上昇などの影響を受け、利益面は横ばいにとどまりました。

その結果、売上高は140億8百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は14億21百万円（同0.1%減）となりました。

<機能性材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンや自動車分野などでの半導体や高機能デバイスの需要が好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、電子材料用配合製品、精密部品洗浄剤および精密研磨剤の好調により、売上高は63億93百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は3億4百万円（同87.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億60百万円増加し、857億58百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が21億58百万円、有形固定資産が1億77百万円減少し、受取手形及び売掛金が22億88百万円、たな卸資産が5億38百万円、投資有価証券が9億78百万円増加したことによります。

負債は、短期借入金が14億4百万円、長期借入金が3億43百万円減少し、支払手形及び買掛金が12億27百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億95百万円減少し、319億45百万円となりました。

純資産は、利益剰余金などが増加したことにより、前連結会計年度末に比べ22億55百万円増加し、538億13百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ21億20百万円減少し、79億98百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億19百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益(31億17百万円)、減価償却費(12億54百万円)などにより資金が増加し、期末日休日の影響を含む売上債権の増加(26億76百万円)などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億96百万円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出(8億13百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、23億57百万円の減少となりました。これは、借入金の純減少(17億49百万円)が主なものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成29年5月8日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,212 | 8,053 |
| 受取手形及び売掛金 | 25,939 | 28,228 |
| 電子記録債権 | 1,161 | 1,556 |
| 商品及び製品 | 7,661 | 7,450 |
| 仕掛品 | 998 | 1,024 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,359 | 7,083 |
| 繰延税金資産 | 668 | 590 |
| その他 | 956 | 1,012 |
| 貸倒引当金 | △153 | △127 |
| 流動資産合計 | 53,804 | 54,871 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,766 | 7,620 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 6,614 | 6,319 |
| 土地 | 5,190 | 5,191 |
| 建設仮勘定 | 163 | 403 |
| その他(純額) | 465 | 487 |
| 有形固定資産合計 | 20,199 | 20,022 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,107 | 965 |
| その他 | 374 | 376 |
| 無形固定資産合計 | 1,481 | 1,341 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,430 | 8,409 |
| 退職給付に係る資産 | 386 | 530 |
| 繰延税金資産 | 159 | 147 |
| その他 | 521 | 519 |
| 貸倒引当金 | △85 | △84 |
| 投資その他の資産合計 | 8,413 | 9,522 |
| 固定資産合計 | 30,094 | 30,886 |
| 資産合計 | 83,898 | 85,758 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,967 | 11,194 |
| 短期借入金 | 7,957 | 6,553 |
| 未払法人税等 | 880 | 609 |
| 未払消費税等 | 179 | 136 |
| 繰延税金負債 | 45 | 0 |
| 賞与引当金 | 1,276 | 1,179 |
| 役員賞与引当金 | 80 | 44 |
| 修繕引当金 | 80 | 11 |
| 設備関係支払手形 | 63 | 89 |
| その他 | 3,929 | 4,234 |
| 流動負債合計 | 24,459 | 24,054 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 5,000 | 5,000 |
| 長期借入金 | 343 | - |
| 繰延税金負債 | 1,695 | 2,021 |
| 修繕引当金 | - | 12 |
| 退職給付に係る負債 | 335 | 342 |
| 資産除去債務 | 212 | 219 |
| その他 | 295 | 294 |
| 固定負債合計 | 7,881 | 7,890 |
| 負債合計 | 32,340 | 31,945 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,343 | 3,343 |
| 資本剰余金 | 3,564 | 3,564 |
| 利益剰余金 | 38,802 | 40,412 |
| 自己株式 | △12 | △12 |
| 株主資本合計 | 45,697 | 47,306 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,904 | 3,572 |
| 為替換算調整勘定 | 1,026 | 958 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 286 | 269 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,218 | 4,800 |
| 非支配株主持分 | 1,641 | 1,705 |
| 純資産合計 | 51,557 | 53,813 |
| 負債純資産合計 | 83,898 | 85,758 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 37,937 | 39,890 |
| 売上原価 | 29,026 | 30,628 |
| 売上総利益 | 8,911 | 9,262 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,357 | 6,600 |
| 営業利益 | 2,553 | 2,662 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 5 |
| 受取配当金 | 82 | 93 |
| 不動産賃貸料 | 62 | 56 |
| 為替差益 | - | 27 |
| その他 | 94 | 110 |
| 営業外収益合計 | 252 | 294 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 94 | 82 |
| 為替差損 | 179 | - |
| その他 | 53 | 30 |
| 営業外費用合計 | 328 | 113 |
| 経常利益 | 2,477 | 2,843 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | - | 0 |
| 為替換算調整勘定取崩益 | - | 287 |
| 新株予約権戻入益 | 13 | - |
| 特別利益合計 | 16 | 287 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 30 | 12 |
| 特別損失合計 | 30 | 12 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,463 | 3,117 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 583 | 628 |
| 法人税等調整額 | 10 | 128 |
| 法人税等合計 | 594 | 756 |
| 四半期純利益 | 1,868 | 2,361 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 161 | 298 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,707 | 2,063 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,868 | 2,361 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 199 | 667 |
| 為替換算調整勘定 | △1,903 | △148 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | △16 |
| その他の包括利益合計 | △1,703 | 501 |
| 四半期包括利益 | 165 | 2,863 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 241 | 2,645 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △75 | 217 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,463 | 3,117 |
| 減価償却費 | 1,289 | 1,254 |
| のれん償却額 | 66 | 141 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 21 | △25 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 63 | △96 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △23 | △36 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △147 | 6 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | - | △143 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | - | △0 |
| 新株予約権戻入益 | △13 | - |
| 為替換算調整勘定取崩益 | - | △287 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 27 | 12 |
| 受取利息及び受取配当金 | △95 | △99 |
| 支払利息 | 94 | 82 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 978 | △2,676 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,978 | △482 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,061 | 1,205 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △18 | △58 |
| その他 | 193 | △51 |
| 小計 | 5,818 | 1,863 |
| 利息及び配当金の受取額 | 99 | 99 |
| 利息の支払額 | △97 | △57 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △636 | △885 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,184 | 1,019 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(△は増加) | 138 | 37 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,044 | △772 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2 | 1 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △14 | △16 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △21 | △41 |
| 投資その他の資産の増減額(△は増加) | 3 | 1 |
| その他 | △23 | △6 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △959 | △796 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △1,500 | △591 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,000 | △1,158 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 12 | - |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △307 | △454 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | - | △153 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,796 | △2,357 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △602 | 12 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 825 | △2,120 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,622 | 10,118 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,447 | 7,998 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった厦門荒川化学工業有限公司は、清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|--------|-------|--------|------------|--------|
| | 製紙薬品 | コーティング | 粘接着 | 機能性材料 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,822 | 9,351 | 13,442 | 6,166 | 37,782 | 154 | 37,937 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 64 | 64 | 36 | 101 |
| 計 | 8,822 | 9,351 | 13,442 | 6,230 | 37,847 | 191 | 38,038 |
| セグメント利益 | 668 | 520 | 1,423 | 162 | 2,775 | 11 | 2,787 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,775 |
| 「その他」の区分の利益 | 11 |
| 全社費用の配賦差額(注) 1 | 30 |
| コーポレート研究開発費用(注) 2 | △174 |
| 営業外損益(注) 3 | △89 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,553 |

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|--------|-------|--------|------------|--------|
| | 製紙薬品 | コーティング | 粘接着 | 機能性材料 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,900 | 9,443 | 14,008 | 6,393 | 39,745 | 144 | 39,890 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | 23 | 23 |
| 計 | 9,900 | 9,443 | 14,008 | 6,393 | 39,745 | 168 | 39,914 |
| セグメント利益 | 590 | 525 | 1,421 | 304 | 2,841 | 15 | 2,857 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,841 |
| 「その他」の区分の利益 | 15 |
| 全社費用の配賦差額(注) 1 | △2 |
| コーポレート研究開発費用(注) 2 | △181 |
| 営業外損益(注) 3 | △10 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,662 |

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。